

メタロック N-31

メタロックN-31はニトリルゴム、アクリルゴム等と各種金属、又は金属板、シルバートップ鋼板、ボンデ鋼板等との加硫接着剤です。

メタロック N-31 の特徴、用途

1. 塗膜の色は無色です。この塗膜の色は焼付け後に淡黄色となります。
2. 通常はヘキサ又はヘキサBを添加してから使用するタイプです。ヘキサBを添加すると接着剤は青色になります。
3. シルバートップ鋼板等とニトリルゴム等との接着が良好であります。また加硫接着終了後の折曲げ、切断、打抜きに耐えます。
4. ゴム層が薄い場合にも良好な接着を得る事が出来ます。

メタロック N-31 の性状

外観	淡褐色液体	粘度	15 ~ 50 mPa·s (20℃)
比重	0.97 ~ 1.01 (20℃)	不揮発分	39 ~ 45 %
主溶剤	MEK	稀釈溶剤	MEK
引火点	10.0 °C	入り目	1 kg, 18 kg
貯蔵安定期間	6ヶ月		

使用方法

通常はメタロック N-31 = 100 に対し ヘキサ 又は ヘキサB = 3 の割合で溶解させてください。

稀釈する必要のある場合は 30~100%、スプレー、ディッピングの場合には 50~200%程度として下さい。但しグリットブラスト面のような粗面には 0~20%程度として下さい。

塗膜は、常温又は高温で乾燥させます。高温乾燥（プレバーク）される場合の温度は加硫接着時の温度をその上限とします。乾燥後、ゴムとの加硫接着を行います。

取り扱い上の注意

メタロック各製品は労働安全衛生法による第2種有機溶剤を含有していますので、換気等には十分注意して下さい。また、消防法第4類ですので火気厳禁をお願い致します。

株式会社 東洋化学研究所

〒662-0934 兵庫県西宮市西宮浜 1-5-1
TEL0798-33-6213 FAX0798-33-6473

2017.02.20 現在